

平成18年度 決算状況の公表

平成18年度の一般会計歳入歳出予算額を3,100万円と定め、平成20年4月の後期高齢者医療制度施行に向けての準備をスタートさせました。

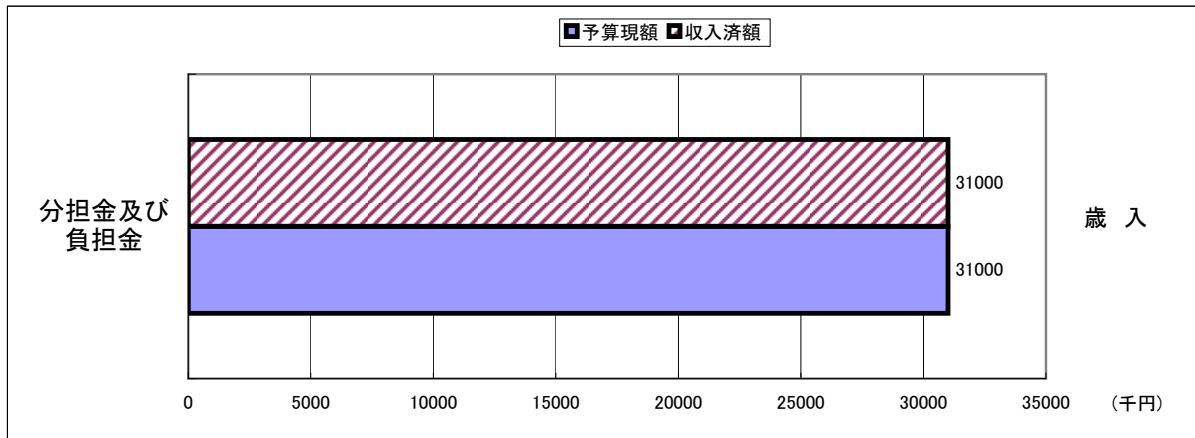
平成18年度歳入決算額は、3,100万円で収入率100%、歳出決算額は3,039万円で執行率98.0%となっており、歳入歳出差引額は61万円となっています。

一般会計決算の状況

【歳入】

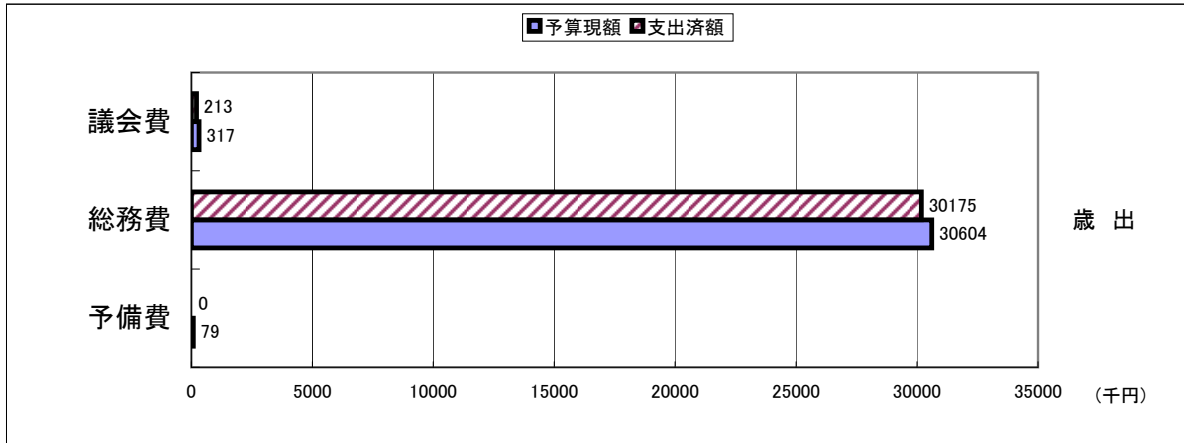
予 算 現 額	31,000 千円
収 入 済 額	31,000 千円
収 入 率	100.0%

	予算現額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)
1 分担金及び負担金	31,000	31,000	100.0%
合 計	31,000	31,000	100.0%



【歳出】	予 算 現 額	31,000 千円
	支 出 済 額	30,388 千円
	不 用 額	612 千円
	執 行 率	98.0%

	予算現額(千円)	支出済額(千円)	執行率
1 議会費	317	213	67.2%
2 総務費	30,604	30,175	98.6%
3 予備費	79	0	0.0%
合 計	31,000	30,388	98.0%



広域連合の財産

区分	現在高
公有財産	なし
物品(重要物品)	119万円(公用車)
債権	なし
基金	なし

重要物品とは、形状を変えることなく、比較的長期間使用ができるもので、購入評価価格が100万円以上の備品です。

地方債の額

地方債とは、特定の財源に充てる目的で資金を借り入れることで、長期にわたる債務です。

※平成18年度決算において、地方債の実績はありません。

一時借入金

一時借入金とは、年度途中で一時的に資金が不足する場合に借り入れる借入金です。

※平成18年度決算において、一時借入金の借入はありません。